随時募集　入居申込書（公営住宅・改良住宅）

住宅No.
※

この申込書の記載事項にいつわりのないことを誓約し、市営住宅に入居したく申込みます。
この申込書の記載事項が事実と相違したり、又は入居資格のあることを証明できないときは失格となっても異議を申しません。
当選時及び入居以後に、私及び同居する者の収入等の入居資格について公簿等により確認することに同意します。

大阪市長

受付印	申込区分・住宅種別	単身者	住宅名	号館	部屋番号	収入区分	※印欄は記入しないでください
※	一般住宅（公営・改良） 親子ペア住宅(公営) 車いす常用者向特別設計住宅	単身者	※　住宅	※　号館	※　号室	※ 順位 ※	

申込者	フリガナ		性別	住所	電話
	氏名		男 女	〒　－ （　様方） 現在市営住宅に住んでいる方は必ず記入してください。 住宅　号館　号室　名義人氏名（　）	自宅 携帯電話
	婚約者（婚姻予定年月日）	☆令和　年　月　日	勤務先	名称 所在地	勤務先

入居する者	フリガナ 氏名	続柄	生年月日	年齢	性別	職業の有無		給与(円)	年金(円)	事業等(円)	所得合計(円)	特別控除額 コード	特別控除額 金額(円)
		本人	大昭平 . .		男女	有無	年間総収入 年間所得						
			大昭平令 . .		男女	有無	年間総収入 年間所得						
			大昭平令 . .		男女	有無	年間総収入 年間所得						
			大昭平令 . .		男女	有無	年間総収入 年間所得						
			大昭平令 . .		男女	有無	年間総収入 年間所得						
			大昭平令 . .		男女	有無	年間総収入 年間所得						
親子ペア住宅の親世帯			大昭平 . .		男女	有無	年間総収入 年間所得						
			大昭平 . .		男女	有無	年間総収入 年間所得						
住所									(イ)—(ロ)	(イ)世帯所得計	(ロ)世帯特別控除計		

高齢者世帯等（17ページ参照）（○で囲んでください）

① 入居者すべてが60歳以上
② 高等学校修了前とされる年齢（18歳まで）の子どもがいる世帯
③ 身体障がい者（１～４級）
④ 精神障がい者（１・２級）
⑤ 知的障がい者（A・B１）
⑥ 戦傷病者
⑦ 原子爆弾被爆者
⑧ 海外引揚者
⑨ ハンセン病療養所入居者等

単身申込区分（○で囲んでください）

① 60歳以上
② 身体障がい者（１～４級）
③ 精神障がい者（１～３級）
④ 知的障がい者
⑤ 戦傷病者
⑥ 原子爆弾被爆者
⑦ 海外引揚者
⑧ 生活保護被保護者
⑨ ハンセン病療養所入居者等
⑩ 配偶者からの暴力の被害者

同居(入居)する人数(本人を除く)	同居(入居)しないが扶養控除を受けている親族数	特別控除がある場合 コード	特別控除がある場合 金額
名	名		円

特別控除表

コード	特別控除の種類	一人あたりの控除額
A	老人扶養親族等	10万円
B	扶養親族(16歳以上23歳未満)	25万円
C	障がい者	27万円
D	特別障がい者	40万円
E	寡婦	27万円
F	ひとり親	35万円

裏面の「住宅事情等」欄に記載のとおり住宅に困窮しています。　〒 大阪市

◎申込資格の確認のため必要ですので、裏面の「住宅事情等」欄も必ず記入してください。

申込みは１世帯１件に限ります。申込書の書き方、記載例は 47・48ページにあります。お間違いのないように記入してください。

□ 線で囲んだ部分にご記入ください。

（→裏面へ）

☆婚約者との申込みは婚姻予定年月日も記入してください。

◎「申込みのしおり」の11～17ページをよく読み、金額を確かめてから記入してください。

◎申込資格の確認のために必要ですので、下記の「住宅事情等」の項目も**必ず**記入してください。

親子ペア住宅に申し込まれる方は、子世帯の状況を記入してください。

■各項目の中から当てはまる番号に○を付けてください

1　現在お住まいの住宅について、下記から選んでください。【すべての方がお答えください】

1．持ち家　　2．親族の家に同居　　3．公営・公社・ＵＲ賃貸など公共賃貸住宅

4．民間借家（木造アパート・文化住宅）　　5．民間借家（賃貸マンション）

6．民間借家（戸建・長屋など）　　7．社宅・官舎・寮など

8．その他（　　）

現在持ち家にお住まいの方

（1で「1．持ち家」に○を付けられた方）

2　市営住宅に申し込む理由について、下記の①②の質問にお答えください。

①　世帯の預貯金合計

1．100 万円未満　　2．100～300 万円未満

3．300～500 万円未満　　4．500 万円以上

②　現在の住宅に引き続き居住できず、新たに民間住宅を確保することが困難である理由を下記から選んでください。

1．老朽化が著しいが、補修等の資力がない

2．住宅ローン等の返済が困難である

3．住宅が狭小で過密居住となっている

（一人あたりの平均畳数：約　　帖）

4．通勤・通院が困難である

（通勤・通院時間：約　　分）

5．その他（　　）

下記の質問にお答えください

現在借家等にお住まいの方

（1で持ち家以外2．～8．に○を付けられた方）

3　市営住宅に申し込む理由について、下記の①②の質問にお答えください。

①　世帯の預貯金合計

1．100 万円未満　　2．100～300 万円未満

3．300～500 万円未満　　4．500 万円以上

②　現在の住宅に引き続き居住できず、新たに民間住宅を確保することが困難である理由を下記から選んでください。

1．所有者から立ち退きを迫られている

2．家賃の支払いが困難である

（家賃月額：　　円）

3．住宅が狭小で過密居住となっている

（一人あたりの平均畳数：約　　帖）

4．通勤・通院が困難である

（通勤・通院時間：約　　分）

5．現在親族の家に同居しているが、婚姻等の理由により世帯を分離する

6．その他（　　）

下記の質問にお答えください

4　現在お住まいの住宅以外の不動産を所有していますか。【すべての方がお答えください】

1．所有している

所有している物件に○を付けてください。：住宅・土地・その他（　　）

〔その不動産を活用して居住できない理由を記入してください。〕

2．所有していない

◎生活保護の受給について〔1．はすべての方がお答えください（当てはまる番号に○を付けてください。）。〕

1　現在、生活保護を受給していますか。

1．受給している

2．受給していない

（1で「1.受給している」に○を付けられた方は2へ）

2　市営住宅への転居について担当ケースワーカーに相談している方は次の□をチェック（✓印を記入）してください。□

※相談していない方は、相談のうえお申し込みください。